

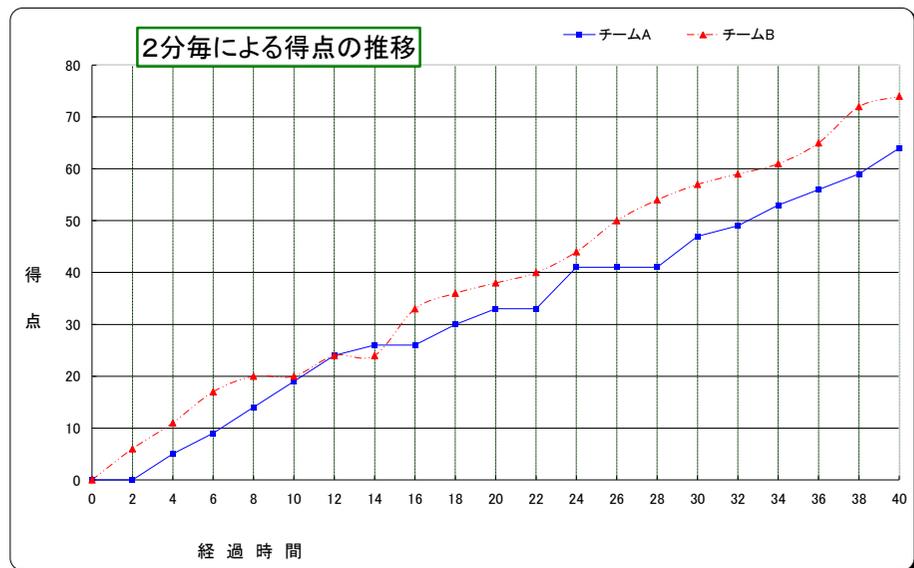
平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)
本庄シルクドーム
Bブロック2回戦

チームA	64	{	19	1st	20	}	74	14	2nd	18
八千代松陰 (千葉)			14	3rd	19			17	4th	17

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	寺迫 修平	5	1	7	1	4	0	2	2	3	4	0	3	0	2
5	大谷 鴻介	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6	小林 雄吾	16	0	4	7	12	2	4	4	2	3	0	0	0	1
7	倉野 峻輔	11	3	5	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0
8	福井 達登	15	3	7	3	6	0	0	4	4	7	0	0	0	1
9	アハマード スイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	岩崎 蓮	9	1	1	3	4	0	1	1	0	1	0	0	0	0
11	小林 大樹	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	芦澤 仁貴	0													
13	深澤 卓	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
14	木村 悠登	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
15	小比類巻千寛	0													
16	松岡 海輝	0													
17	工藤 貴哉	8	0	5	4	8	0	0	0	1	2	1	0	0	1
18	磯脇 佑真	0													
コーチ	堀田 貴司														0
		64	8	29	19	39	2	9	13	10	19	1	3	0	7
		確率	27.6%		48.7%		22.2%			計	29				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	長澤 幸希	7	0	2	3	3	1	1	4	1	2	0	0	0	2
5	佐藤 拓海	15	1	5	6	9	0	2	2	3	4	0	0	1	0
6	吉田 帝實	18	2	8	6	7	0	4	2	1	5	1	0	0	1
7	白鳥 拓土	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
8	李 政霖	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9	永峯 秀飛	3	1	4	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	1
10	芦澤 俊亮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	森田 崇暉	24	1	4	9	14	3	6	1	5	8	0	0	0	1
12	須貝 晃太	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	山来 亮太	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1
14	神田 康太	5	1	4	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
15	近藤健太郎	0													
16	松本 和太	0													
17	古波倉大也	0													
18	溜池 龍太	0													
コーチ	田渡 優														
		74	6	27	26	39	4	13	13	13	25	1	1	1	6
		確率	22.2%		66.7%		30.8%			計	38				



戦評

第1P 両チーム、マンツーマンディフェンスで始まる。京北はリバウンドから速攻で点を重ね、#4がドライブインの得点を取ると松陰はタイムアウトをとる。その後、松陰は落ち着きを取り戻し#6を中心に得点を取るが京北のドライブからの合わせを止めることができず京北1点リードで終了する。

第2P 両チーム速い展開から得点を決め、激しいディフェンスから点の取り合いとなる。7分には同点となり京北のファールが多くなる。松陰はディフェンスリバウンドをしっかり取り#4のドライブで逆点するが京北#11の的一对で得点を奪われ残り4分タイムアウトをとる。その後、一進一退の攻防が続くが京北#14の3Pを決められ京北リードで前半を終了する。

第3P 両チーム激しいディフェンスからの展開となり京北は#6のジャンプシュート、松陰は#6の3Pで応戦する。両チーム共、ルーズボールの意識が高く集中力を切らせない。残り3分、松陰がタイムアウトをとる。京北はその後#5のジャンプシュートで点差を広げる。松陰も#6のドライブシュート、#17のゴール下シュートで粘りを見せるが京北が10点差で最終ピリオドをむかえる。

第4P 出だし松陰は#6のドライブシュートが決まり勢いに乗るが京北も#5のタップシュートなどなかなか点差が縮まらない。残り6分松陰#7のシュートが決まり6点差となる。京北も#11のリバウンドからのシュートなどで得点を重ねる。残り3分、松陰はゾーンプレスをししかけペースを取り戻すがリズムに乗れない。タイムアウトをとり再びマンツーマンディフェンスでプレッシャーをかけるが最後までスピードの落ちない京北の勝利となった。

記録者:根本靖雄

主審 大庭 英裕

副審 平山 智章